

令和 7 年 6 月 11 日

令和 7 年度第 3 回理事会議事録

日 時：令和 7 年 6 月 11 日（水） 18 時 30 分～20 時 45 分

会 場：オンライン会議（Zoom 使用）

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、都留理事、實光理事、安積局長、田竈局長

総務部：天野、藤原

欠席者：千葉監事、早瀬局長、辻岡局長

書 記：藤原

令和 7 年度第 3 回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和 7 年度第 2 回理事会議事録

資料参照のうえ、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

本田理事（事務局）より、資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行 8 件、委嘱状 12 件、財務部は 5 月々業務日誌の処理、各部の財務管理、監査会議を行った。

安積局長（情報管理局）より、資料に基づいて報告があった。SM 部はセンターHP 管理運営、研修会・学会の広報、センター主催研修会の広報を行った。ニュース編集部は府士会ニュース 310 号の取りまとめ、「おおさか PT 学びの道しるべ」5 月号の発行、6 月センター主催研修会情報のプッシュ通知、「おおさか PT 学びの道しるべ」の編集等発行に向けた準備、マニュアル作成を行った。SE 部は大阪学会のサポート、賛助企業マッチング HP の公開を行った。

鈴木理事より「おおさか PT 学びの道しるべ」について会員様から FB をもらうようにしてはどうかと質問があった。中川理事長よりニュース最後にアンケート等を使用し、どの程度反応があるのか見てみてはどうかという意見があり、部に持ち帰って検討するとのこと。

田竈局長（生涯学習局）より、資料に基づいて報告があった。研修事業はセンター主催研修会の 5 月開催分について、市区町村士会からの各種申請及び問い合わせの対応、2025 年度開催主催研修会準備、2025 年度スキルアップセミナー準備を行った。3 士会合同研修会事業は 2025 年度 3 士会合同研修会内容検討、講師選定、広報準備を行った。研修集会事業は新人ガイダンスにてリーフレット配布、SNS 等での広報を行った。理学療法士講習会事業は 1 件の講習会が終了したことが報告され、2025 年度下半期の講習会募集を継続中。認定カリキュラム事業は新規領域開催準備、HP 完成、広報活動を行った。学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中 10 件、早期公開準備 1 件、都道府県士会及び養成校への学術冊子体郵送廃止の文書通知を行った。

中川理事長より、次年度の生涯学習部について、継続性維持のため 1/3 くらい残し他の部員を入れ替えて研修会の内容も含めマンネリ化させないような運営をしてもいいのではとの意見があり、部に持ち帰って検討するとのこと。

都留理事（教育局）より資料に基づいて報告があった。学術大会部は第 37 回大会についてロードマップに則り各部の業務進行、ウェビナーの予行会実施、プログラム完成に向けて座長の調整を行った。第 38 回大会について学術大会部のメンバーを slack に招待するように連絡を行っ

た。臨床実習教育部は 2025 年度講習会準備、2025-2026 年度 WG メンバーの決定、年間スケジュールの調整、臨床教育者講習会 BASIC コースの参加者の案内・講習会準備を行った。研修理学療法教育部は、新人症例発表会について主幹士会で予算書・実行委員会組閣・主催症例検討会・前期研修・後期研修（「主催」症例検討会年間予定と案内開始、第 1 回「主催」症例検討会エントリー募集、講師バンク候補者への日程・テーマ調整）について準備を行った。

鈴木理事より学会プログラムについてはいつ全てが公開されるか決まっているかという質問があり、学会の 2-3 週間前であるが、今後もう少し早期に公開できるか検討していくとのこと。射場副理事長よりロードマップ作成後に学術大会部の負担は減っているか質問があり、現在は基本的に問題が生じた時のみのミーティング参加になっており、負担は少しずつ減っているとのこと。

イ 臨床認定カリキュラム【運動器】受講アンケート結果について

鈴木理事（生涯学習局担当）より、センター主催の認定カリキュラム事業の講義内容の精度向上を目的とし、2023 年に受講した受講生を対象として認定理学療法士試験との関連性や受講時に感じられた点などのアンケート調査を行った。調査結果からは講義と試験内容の不一致が挙げられた。総意としてもっとシラバスを充実させていく必要があり、協会への訴えかけを続けることで一致した。射場副理事長より、協会側から各教育機関に向けてアンケートを行うという話があったことが共有された。

ウ 第 2 回 3 士会合同研修会（府民対象）企画について

鈴木理事（生涯学習局担当）より、第 2 回 3 士会合同研修会（府民対象）の具体的な講演内容・講演者等の検討を行っていることが報告された。大阪府民を対象に「食べる」をテーマに 3 士会からの講演会後に相談会を予定。検討事項として、PT/OT/ST が参加する場合には、費用をいただいてポイント付与を行う予定であること、来年度は行政機関とも連携し、協賛等も考えながら実施したいこと、広報方法について来年度は府民便りに掲載する方向で調整していきことが挙げられた。中川理事長より、広報方法について市区町村士会にも協力を仰ぎ、市民公開講座等で使用しているネットワークを使用してみたいかどうかという意見が提示された。

エ 第 66 回近畿理学療法学術大会の準備委員会の kick off について

本大会準備委員長である工藤理事（生涯学習局担当）より、第 66 回近畿理学療法学術大会の準備委員会の Kickoff ミーティングを開催し、組織図が完成したことが報告され、ミーティング時の議事録も共有された。テーマは「理学療法の原点にもどる-理学療法評価の重要性-」を掲げ、2027 年 3 月 28 日（日）に開催予定。また、今後準備委員を部長と相談し決定していくことが報告された。第 65 回近畿理学療法学術大会時には企画が完成し、翌日には HP 掲載が出来るように準備予定であり、各県より何%くらいの会員が演題提出をしているのか把握するため、毎回の学会報告として所属士会での参加者数及び発表者数をまとめることも併せて伝えられた。

射場副理事長より、近畿ブロックへの報告はどうすれば良いか質問があり、65 回近畿理学療法学術大会前日に近畿ブロックの会議があるため、そこで鈴木俊明大会長と工藤慎太郎準備委員長に出席していただき報告していただく。また本田理事より、学会運営の補助をしていただけの 4 社に見積もり依頼を出していることが報告された。

（3）審議事項

ア 外部監事の選任について

本田理事（事務局担当）より、（一社）大阪府作業療法士会理事で学術局長を担当されている神尾昭宏（ジノオ アキヒロ）先生（留任）、（一社）大阪府言語聴覚士会理事で学術部を担当されている青木弥穂（アキ ミホ）先生（新任）のご推薦を賜ったため、次回総会に諮ることについて審議された。

特に異論なく、全員の賛成が得られ、本議案は承認された。

イ 第7回定時総会の開催及び招集について

本田理事（事務局担当）より、開催方法については府士会と相談し決定予定であり、2025年6月22日（日）に府士会総会終了後に実施予定であることが改めて伝えられ、議題について審議された。令和6年度事業報告及び計算書類・監査報告、令和7年事業計画書及び収支予算書承認については異論なく承認され、第3号議案については、理事・監事選任に修正され承認された。総会に対する事前質問も寄せられており、どこの部が返答するか協議された。当日の集合場所やタイムスケジュールについては別途連絡することも併せて伝えられた。

ウ 次年度新規開講予定の臨床認定カリキュラム(臨床教育)について

鈴木理事（生涯学習局担当）より、次年度新規開講予定の臨床認定カリキュラム(臨床教育)の講師について共有され、審議された。井阪副理事長より、森憲一先生について所属が兵庫県であるが、講師の申請として問題がないか確認していただくように話がされた。

承認され、日本理学療法士協会への申請を進めていただく。

エ 弔事に係る対応について

本田理事（事務局担当）より、前回継続審議となった本議題に関し、修正され再度審議された。射場副理事長より、府士会と足並みを揃えた方が良いのかと質問があり、井阪副理事長より府士会と同様にすると、弔慰金がなく会費を返還するのみと返答がなされた。生涯学習センターとしての意見として、合同会議に諮っていく必要があることも併せて伝えられた。中川理事長より、供花についてもう少し基準を明確にするべきという意見が出され、「元役員本人が死亡した時」という文言を追加することとなった。文言追加で承認された。また、内記に含める前に8月に開催予定の合同会議で報告することも伝えられた。

オ 市区町村士会からの『主催』研修会(今年度後期開催分)の開催申請について

工藤理事(生涯学習局担当)より、資料について共有され、2支部2士会から計15研修の申請があり、開催にあたり問題がないか審議された。鈴木理事より毎年同じ内容か質問があり、新規のものがほとんどであることが伝えられた。

特に異論なく、全員の賛成が得られ、本議案は承認された。

4 その他

・ 認定カリキュラムのHP掲載について

實光理事より認定カリキュラムのHP掲載について話が共有された。認定カリキュラムの掲載依頼が何件か来ており、協賛企業からの掲載依頼はどうしていくか協議された。基本的には現在の掲載条件に基づいて判断し、今後不都合が生じた場合には今後の議題に上げて頂くことで意見がまとまった。

・ 近畿学会のアナウンス依頼について

射場副理事長より、第65回近畿理学療法学会のアナウンスが府士会HPでされているが、センターHPではまだされていないことが指摘された。中川理事長より京都府士会より大阪府士会に依頼があり、センター宛に依頼が来ていないことが原因であり、府士会事務局に依頼があればセンターにも依頼を送るように連絡を行って頂くようにした方が良いのではないかと提案がなされた。今回は学会大会に関するものであるため、京都府士会に連絡を取る方向となった。

以上